Proud! Japan
東日本大震災の復興を支援しよう

広報 ゆのまえ

集大成の夏に挑む。

※関連記事事8・9ページに掲載

活き活きと輝き、誇れるまちの情報誌「広報ゆのまえ」

ゆのまえ 8

2011
No.362

特集/
今日からはじめる省電生活

電気イズマネー

「省電」は、家計と地球を救う

3・11の東日本大震災。

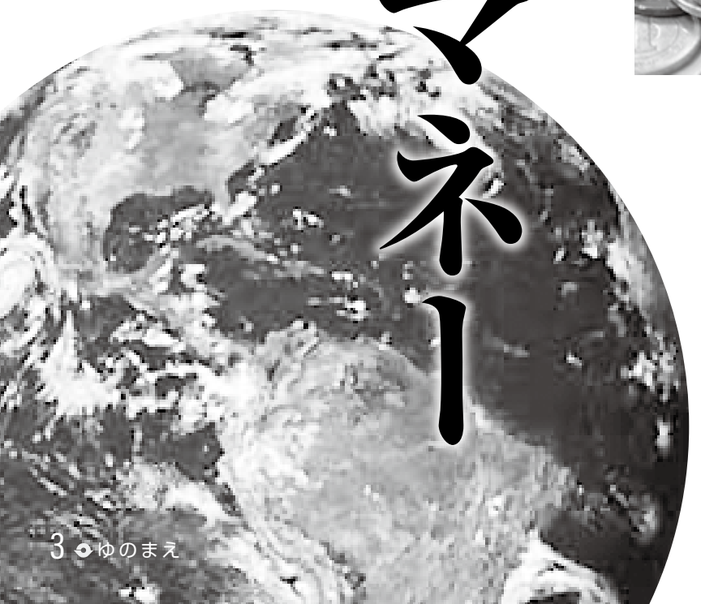
福島原発の事故は、これまで、その多くを原子力発電に依存してきた日本の電力供給体制に、大きな課題を投げかけました。

全国各地で、原発停止や運転再開が厳しい状況に陥った今、電力不足は東北、関東地方だけではなく、日本中の課題となっています。

しかし、「節電」を意識するあまり、熱中症など体調を崩してしまっては本末転倒です。

できることから、無理をせず、楽しみながら―。

限られた電気を上手に使う「省電生活」を、今日からはじめてみませんか？



広報
ゆのまえ
2011.8 No.362

CONTENTS 目次

2
Pick Up Topics
赤城袈道さん叙勲
3–7
特集
「今日からはじめる省電生活」
8–9
球磨人吉中体連大会
10
第５回JTの森ゆのまえ
森林保全活動
11
郡民体育祭速報、
トピックス（婦人会からタオル贈呈）
12
人事異動・役場配置替え
13
JICA皆越さん帰国、
国保・介護運営委員
14
農業委員決まる
15
湯前町職員採用試験
16
青年団だより、７月のごみ情報
17
保健師だより、戸籍の窓
18
通信陸上大会、
編集あとがき

〈８月の表紙〉
中学生にとって、部活動の３年間の集大成となる中体連大会。今年も湯中勢の活躍が光りました。彼らの真剣でひたむきな姿は、見ている者の胸を熱くしました。

Pick Up Topics

旭日単光章を受章した赤城袈道さん

赤城 袈道 さんに
高齢者叙勲「旭日単光章」

多年にわたり地方自治の伸展に尽力した功績が認められ、このたび赤城袈道さん（88歳＝浜川）が旭日単光章（高齢者叙勲）を受章しました。

赤城さんは、昭和42年５月から昭和58年４月までの４期16年間湯前町議会議員を努め、その間経済建設委員長や総務委員長などを歴任し、農業の発展、住民福祉の向上に大きく貢献。また、湯前町農業委員会会長、湯前町農業協同組合代表理事組合長（現球磨地域農協上球磨支所）を努められました。

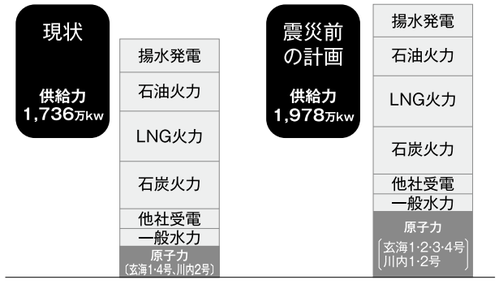
叙勲は、天皇から内閣の助言と承認により贈られるもので、旭日単光章は、町村長として７年、議会議員として12年以上在籍した人に、内閣総理大臣を通じて贈られます。赤城さんは、５月に88歳の誕生日を迎えられ、高齢者叙勲となりました。

赤城さんは「これまでの88年間は、長いようで短く、あっという間だった。このような章を受けることができ、支えたいただいた多くの人たちに感謝しています」と話しています。

深刻化する「電力不足」

3月11日に発生した東日本大震災を機に、日本は大きく変わりました。

ときには恩恵を、ときには猛威をふるう大自然の前に、私たち人間は無力であるということ。そして、「想定外」の事態は起こりうるということを改めて学ぶことができました。



なかでも、福島原発事故は原子力行政のあり方を根本から覆す出来事になりました。

この事故をきっかけに、全国各地に点在する原子力発電所では、運転中止や運転再開の見送りが相次ぎ、今や電力不足は日本全体に突きつけられた課題となっています。

沖縄県を除く九州7県を管轄する九州電力には、佐賀県玄海町と鹿児島県川内市の2カ所に原子力発電所がありますが、合計6つの原子炉のうち3炉が運転停止になっていて、運転再開の見通しは立っていません。

そのため、不足分は火力発電でまかなうことになっていますが、このまま高い気温が続き、多くの電力が必要な状況が続けば、石油などの燃料がさらに必要となり、電力が不足してくる恐れもあるのです。

電気をムダなく、上手に使う

それでは、実際に私たちにできることは何なのでしょうか。

答えはただひとつ。**「使う電気を減らすこと」**です。

しかし、以前からさかんに耳にする「節電」という言葉は「面倒くさい」「大変そう」といったイメージでとらえられがちです。

そこで、出てきたのが「省電」。文字どおり、「電気を省く」ことを表しますが、ただ使う電気を減らすという意味にとどまらず、無理のない範囲で、電気を上手に使うという意味も込められています。

さらに省電は、電気代を抑え家計の節約につながるだけでなく、地球温暖化の原因となるCO_2の削減にもなり、まさに一石一鳥。

ちょっとしたコツさえつかめば、誰にでもできる「省電」。今すぐにできる省電を具体的に紹介してみましょう。

①エアコン(2.2KWの場合)

○設定温度は28℃に

設定温度を27℃から28℃に(外気温が31℃のとき)するだけで、**年間約620円の節約**に

○フィルターを月に1回清掃

ゴミやホコリで目詰まりしていると、エアコンの効きが悪くなります。

清掃は、本体からフィルターをはずし、水で洗うだけなので簡単。

年間約650円の節約に

ワンポイント

○扇風機を活用

○カーテンや断熱フィルムで　窓からの熱を遮断。

実際に28℃に設定するだけでは、「涼しい」とは感じないのではないでしょうか。そこで、扇風機を使い冷気を部屋中に行き渡らせたり、カーテンなどで光を遮断することで、冷房効率をアップできます。

②テレビ

○見ないときは消す

1日1時間、見る時間を減らすだけで**液晶では年間約310円、プラズマでは年間約1,520円の節約**に

○主電源をＯＦＦに

リモコンで電源を切っても、少量の電気が使われます。寝る前や外出前には本体の主電源を切りましょう

③冷蔵庫

○ものを詰め込み過ぎない

詰め込みすぎは、冷気の流れを悪くします。詰め込んだ場合と半分にした場合では、…**年間約890円の節約**に

○設定温度は適切に

設定温度を「強」から「中」にするだけで、**年間約1,260円の節約**に

○壁との間隔を空ける

壁にぴったりとつけてしまうと、放熱ができず電気代がかかってしまいます。取扱説明書に書いてある、壁との適切な間隔で設置することで、…… **年間約920円の節約**に

④炊飯器

○保温時間を短く

朝炊いたご飯を、夕飯のときまで保温していませんか？

長時間保温するよりも、2回に分けて炊くほうが、省エネになります。保温時間を1日あたり3時間短縮すると

……**年間約530円の節約**に

朝、夕飯の分まで炊く場合は、容器に入れて冷蔵庫へ。夕飯の前に電子レンジで温めればＯＫ

ワンポイント

◇炊く量に合ったサイズを選ぶ

大きなサイズの炊飯器で少し炊くよりも、炊く量に合ったサイズで炊くほうが省エネになります。炊飯器を買い換えるときはご参考に

⑤電気ポット

○使わないときはプラグを抜く

ポットに満タンにした水を沸騰させ6時間保温した場合、とプラグを抜いて再沸騰した場合では、**年間約2,190円の節約**に

九電ホームアドバイザーにご相談ください

九電ホームアドバイザーの青山朋子さん

ご家庭で、今日からできる省電をいくつかご紹介してきましたが、「いまいちよくわからない」「うちの場合、どうしたらいいの？」とお困りの人は、九電ホームアドバイザーにご相談ください。

直接ご自宅に伺い「もっと暮らしを快適にする」ためのご相談やご提案をします。

また分館行事や老人会活動などご要請があれば、出前講座にも伺います。

気軽にお電話ください。

＜お申し込み・お問い合わせ先＞

九州電力人吉営業所九電ホームアドバイザー

TEL 0120(986)608

http://www.kireilife.net

INTERVIEW
インタビュー

無理のない範囲で、楽しみながら「省電」にご協力を！

九州電力㈱ 人吉営業所
統括グループ **小佐井　猛** さん

九州電力では、猛暑などによる夏の電力不足に備え、企業やご家庭で上手に電気をお使いいただく「省電」を呼びかけています。

九州電力では、お客様に電気を安定供給するために、常時８～10％の供給予備率を確保していますが、このまま猛暑日が続き、昨年並みの電力需要となれば、供給予備率は２.２％まで低下し、電力の需給バランスが崩れてしまう恐れがあります。

「省電」にご協力いただく際は、くれぐれもエアコンの控えすぎによる熱中症や保健衛生上、安全上、管理上不適切にならないようにご注意ください。

また、せっかく省電に取り組んでも、実際に成果が見えないと、やりがいもありません。

各ご家庭に毎月お届けする「電気ご使用量のお知らせ」をご覧いただき、前月や前年の同じ月の電気使用量と比較しながら数字で見比べることで、成果を実感しながら取り組んでいただければ、より取り組みがいが出てくるのではないでしょうか。

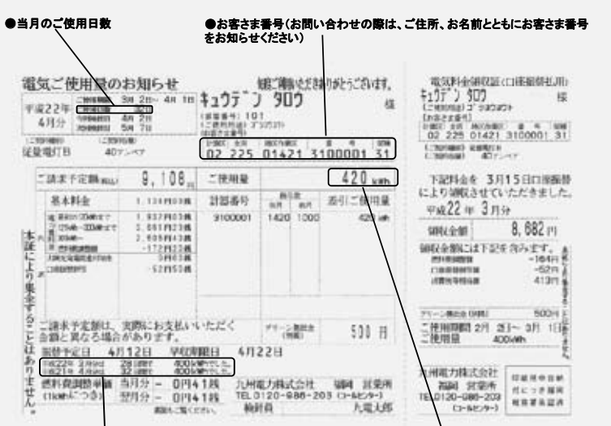
ご家庭でできる省電にご協力ください。

電気ご使用量のお知らせをチェック！

「当月の電気ご使用量」と「前月・前年同月の電気ご使用日数及びご使用量」を比べてみましょう。

季節による変化やご使用日数を考慮しながら、電気のご使用量が削減できたかどうかをチェックしてみましょう。

例）当月の電気ご使用量



省電生活が生む新たな効果
家族団らんで、親子の絆も深まる

テーブルを囲み、トランプゲームを楽しむ黒木さん一家。家族全員で過ごせる貴重な時間は、テレビを消し、家族の絆を深めています。

湯前町上里１区在住の黒木真也さん（35＝団体職員）は、妻・千晶さん、長女・歩希さん、長男・聡真くんの４人暮らし。

夫婦共働きで、育児と仕事を両立させるために、真也さんも積極的に家事、育児に参画しています。

さらに真也さんは、土日に仕事で家を空けることが多いため「平日のわずかな時間でも、家族４人で過ごせる時間は大事にしたい」と「夕飯のときはテレビを消し、なるべく一つの部屋で一緒に過ごすようにしている」と言います。

子どものしつけのために始めたことが、結果的に電気の節約につながり、家族の団らんにもなるという好循環を生み出しています。

千晶さんは「特別に『節電』『節約』を意識しているわけではなく、無意識のうちに、ごく自然にやっていることばかり。多分、どこの家庭でもやっていらっしゃると思いますよ」。

千晶さんの言葉どおり、どの家庭でも、そして誰にでもできるのが「省電」であり、それは、毎日の生活の中で、気軽に始められることなのです。

次から次へと改良が重ねられ、新商品が開発されている家電などの生活用品は、私たちの日常生活に、便利さをもたらしてくれます。

また、生活スタイルの変化は電気への依存度をますます高めています。

「便利さ」「快適さ」を手に入れるために電気を必要とし、電気を作るためには、多くのエネルギーが費やされているのです。

限られた資源である電気を、ムダなく、かしこく使うことは、誰にでもできる「ごく自然なこと」なのです。

気軽に、無理せず、楽しみながら。

さぁ今日から、省電生活はじめてみませんか？

特集「今日からはじめる省電生活」（完）

男子柔道団体で連覇

見事な投げ技で一本勝ちを決めた、湯前中　髙木凌主将（左）

平成23年球磨人吉中体連大会は7月2日、3日の両日、郡市内の各会場で行なわれ、湯前中学校は柔道男子団体戦で昨年に続き連覇。軟式野球は惜しくも決勝戦で敗れたものの、準優勝校が得られるソフトボールでの県大会出場を決めました。
**　ソフトテニスでは女子個人戦で中園・清松ペアが優勝し、橋本・椎葉ペアは3位。男子個人戦では本田・田浦ペアが準優勝し、上位4ペアが出場できる県大会への切符を手にしました。**

柔道

7月3日にあさぎり町上武道場で行なわれ、男子団体戦で昨年に続き優勝を果たし、湯前中では22年ぶりとなる連覇を果たしました。

予選リーグでは、最大のライバルである免田中を相手に、苦戦しながらも接戦を制すると、続く人吉一中戦では5-0の圧勝で決勝戦へ。

多良木中との対戦となった決勝戦は、先鋒で黒星を喫する悪い流れを、次鋒米良洸太選手が見事な一本勝ちで断ち切ると、残り二選手も積極的な攻めの柔道で、終わってみれば4-1の勝利。見事二連覇を達成しました。

大将を務めた髙木凌主将（3年）は「絶対に県、全国へ行くという強い気持ちで臨んだ。県大会は相手も強くなるが気持ちで負けないように、一戦一戦集中して戦いたい」と話しています。

河野俊弘監督（湯前中教諭）は「選手の練習に取り組む姿勢、コーチの熱心な指導の賜物。県大会でも攻めの柔道で持ち味を出し、悔いのない試合をしてほしい」と話しています。

各階級の上位2人が県大会に出場できる個人戦でも湯中勢が上位を独占し、男女7人が県大会出場を決めました。

◆男子団体
優勝　湯前中　※県大会へ
（信國、米良、西村、湯前、髙木）
2位　多良木中
3位　免田中

◆男子個人
▽55K級
3位　信國　健斗（1年）

▽60K級
優勝　米良　洸太（3年）　※県大会へ

▽66K級
2位　西村高太朗（2年）　※県大会へ

▽73K級
優勝　髙木　凌（3年）
2位　湯前　和康（3年）　※県大会へ

◆女子団体
優勝　水上中
2位　人吉一中
3位　湯前中
（福江、金予、野田）

◆女子個人
▽44K級
優勝　福江　照（2年）　※県大会へ

▽48K級
3位　嶽村　未来（1年）

▽52K級
2位　金子紗也佳（1年）　※県大会へ

▽63K級
優勝　野田　紗生（3年）　※県大会へ

3種目で県大会へ

軟式野球

決勝戦の激闘を終え、観客席に一礼する湯中野球部

優勝　錦中
2位　湯前中
※ソフトボールで県大会へ
3位　多良木中
　　山江中

○畑田誠和監督（湯前中教諭）
「残念な結果だったが、選手はよくやってくれた。最後は相手チームの執念が上回った。」

○田中　航太主将（3年）
「（ソフトボールでの県大会出場に）慣れないボールに戸惑いはあるが、出場するからには、全国大会を目指したい。」

ソフトテニス

個人戦を制した中園・清松ペア

個人戦3位の橋本・椎葉ペア

個人戦準優勝の本田・田浦ペア

◆男子個人
2位　本田裕亮・田浦　奨
（湯前中）※県大会へ

◆女子個人
優勝　中園美里・清松真梨奈（湯前中）
　　※県大会へ
3位　橋本　楓・椎葉美晴
　　※県大会へ

○本田（2年）・田浦（3年）ペア
「決勝で負けたことで、反省点が見つかったので、県大会までに修正して優勝したい」

○中園（3年）・清松（3年）ペア
「団体戦での負けは悔しいが、気持ちを切り替えて自分達のテニスを出し切ることができた。県大会には、責任感と感謝の気持ちを持って臨みたい。」

○橋本（3年）・椎葉（3年）ペア
「団体戦で負けた相手に勝つことができた。県大会は今までの集大成。湯中のテニスを信じて、悔いの残らないプレーをしたい。」

○福嶋美穂監督（湯前中教諭）
「団体戦の悔しさを引きずらず、個人戦も全員で戦えたことが結果につながった。県大会も『チーム力』で戦いたい。」

女子バレー

優勝　人吉一中
2位　湯前中
3位　多良木中
　　人吉二中

人吉二中との接戦を制した湯前中（右：準決勝）

剣道

◆団体
優勝　錦中
2位　湯前中
3位　多良木中
　　上中

第５回
ＪＴの森ゆのまえ森林保全活動

夏の重労働「下刈り」を体験

６月24日、JTの森ゆのまえで第５回目となる森林保全活動が行なわれ、九州各県から参加したJT社員やその家族ら約90人は、２年前に苗木を植栽した町有林2.25ヘクタールの下刈り作業などを体験しました。

生い茂った雑草の下刈りを体験する参加者

同活動は、湯前町と日本たばこ産業（株）とで締結された企業・法人等との協働の森づくり協定の活動の一環として、２００９年４月から約半年に１回のペースで行なわれているボランティア活動。

下刈りは、梅雨から夏にかけて生い茂る雑草が、苗木の生育を妨げないように行なわれる作業で、高温かつ炎天下での作業は、林業の中でも最も過酷な作業といわれています。

参加者らは、上球磨森林組合職員らの説明を受けながら、苗木よりも高く生い茂った雑草を鎌を使ってていねいに取り除きながら、約１時間汗を流しました。

昼食の後、球磨地域振興局林務課の野田貞幸主幹による森林の課外学習を受け、蓑谷ため池に場所を移しカヌー体験をしたり、ゆのまえ温泉湯楽里で入浴したりと、作業で疲れた体を癒していました。

森林の課外学習に真剣に聞き入る参加者

親子でのカヌー体験は人気を集めた

４月に入社し、初めての参加となったJT熊本支店営業部の久冨菜実子さん（23＝熊本市）は「苗木よりも大きくなっている雑草にはびっくりした。急斜面での作業は大変だったけど、木が大きくなるために欠かせない、大切な作業だということがわかった。木の成長が楽しみなので、次回もぜひ参加したい」と汗をぬぐっていました。

球磨郡民
体育祭速報

銃剣道、アーチェリー、空手道で団体優勝

５月25日に開幕した第61回球磨郡民体育祭は、７月24日の陸上競技をもって、約２カ月間にわたる熱戦に幕を閉じました。

24競技で熱戦が展開され、湯前町は銃剣道で６連覇、アーチェリーで３連覇、空手道で２連覇を果たすなど、３種目で団体優勝。

また、４連覇に挑んだ軟式野球は初戦で姿を消し、同じく４連覇に挑んだ弓道競技も入賞を逃しました。

団体の部のおもな成績（入賞種目のみ）は次のとおり。

◆銃剣道
優勝　湯前町
２位　相良村
３位　球磨村

◆アーチェリー
優勝　湯前町
２位　水上村

◆空手道
優勝　湯前町
２位　相良村
３位　あさぎり町

◆卓球
優勝　錦町
２位　湯前町
３位　あさぎり町
　　山江村

◆四半的弓道
優勝　あさぎり町
２位　多良木町
３位　湯前町

◆ゲートボール（男子）
優勝　あさぎり町
２位　湯前町
３位　錦町

◆グラウンドゴルフ（男子）
優勝　水上村
２位　球磨村
３位　湯前町

◆グラウンドゴルフ（女子）
優勝　山江村
２位　相良村
３位　湯前町

※個人結果、最終成績は次号に掲載します。

惜しくも初戦で敗退した軟式野球

婦人会が８施設にタオル寄贈

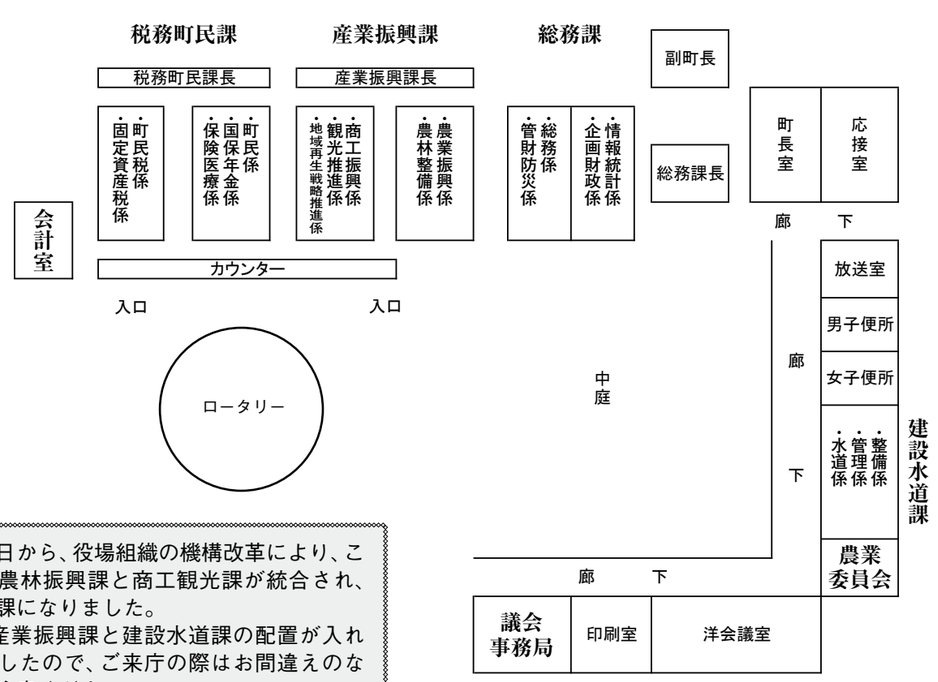
湯前町地域婦人会（橋田實子会長＝１３５人）はこのたび、保育所・園や学校、社会福祉施設など町内８施設に、会員が持ち寄った新品のタオル２５０枚を寄贈しました。

同会が20年以上前から取り組んでいる恒例行事で、７月12日には橋田会長と荒木玲書記が町立東部保育所を訪れ、年長児らにタオルと交通安全紙芝居を手渡しました。

町立保育所の苗床由美所長は「いつも新品をいただいているので、とても助かっています。台ふきやプールの後の体ふきなど、有効に使わせていただきます」と話しています。

保育所などにタオルと紙芝居が贈られた（写真：東部保育所）

役場庁舎内の配置が替わりました



7月1日から、役場組織の機構改革により、これまでの農林振興課と商工観光課が統合され、産業振興課になりました。

また、産業振興課と建設水道課の配置が入れ替わりましたので、ご来庁の際はお間違えのないようご注意ください。

職員人事異動（7月1日付）

※（　）内は前所属

○産業振興課長
（農林振興課長兼商工観光課長）
永濵　洋

○産業振興課主幹兼農業振興係長
事務取扱（農林振興課主幹兼農業振興係長事務取扱）
野中　若治

○産業振興課農林整備係長
（農林振興課農林整備係長）
中園　誠二

○産業振興課地域再生戦略推進係長（農林振興課地域再生戦略推進班長）
稲森　一彦

○産業振興課商工振興係長
（商工観光課商工振興係長）
西村　洋一

○産業振興課観光推進係長兼地域再生戦略推進係長（商工観光課観光推進係長兼農林振興課地域再生戦略推進班）
本山　りか

○産業振興課農業振興係参事
（農林振興課農業振興係参事）
赤池　昌信

○産業振興課農林整備係参事
（農林振興課農林整備係参事）
浅田　徹

○産業振興課地域再生戦略推進係参事（農林振興課地域再生戦略推進班参事）
有馬　博士

○産業振興課農林整備係主事
（農林振興課農林整備係主事）
椎葉　泰裕

○産業振興課農業振興係主事
（農林振興課農業振興係主事）
椎葉　祐介

○産業振興課商工振興係兼観光推進係主事（商工観光課商工振興係主事）
西　公文

○会計室会計係長（議会事務局係長）
那須　康清

○税務町民課保険医療係兼町民税係主事（農業委員会事務局主事）
土屋祐里子

○総務課総務係兼情報統計係主事
（農林振興課農林整備係主事）
澁谷　将人

○税務町民課固定資産税係兼町民税係主事（税務町民課固定資産税係主事）
勘米良康隆

○教育課文化財担当（教育課学校給食共同調理場長兼文化財担当）
溝下　昌美

○教育課学校給食共同調理場長心得（会計室会計係長）
皆越　克己

○教育課学校教育係主事
（商工観光課観光推進係主事）
澤田明日香

○議会事務局参事（教育課学校教育係参事）
赤池　寛子

○農業委員会事務局主事
（税務町民課保健医療係主事）
山口　真子

二年間の任務を終え帰国

JICA派遣の皆越香苗さん

7月11日、町長室を訪れた皆越さん（左）

本町出身者としては4人目となるJICA（独立行政法人国際協力機構）青年海外協力隊の日系社会青年ボランティア隊員で、ブラジルの日本語学校に日本語教師として派遣されていた皆越香苗さん（26＝植木区）が、二年間の任務を終えて帰国。7月11日に鶴田町長に活動報告を行ないました。

大学で日本語教育を専攻していた皆越さんは「海外で働きたい」という思いから青年海外協力隊を志望。その夢が叶い、平成21年7月から二年間、首都ブラジリアから南に1，100㎞ほど離れたピンダモニャンガバ市にある日本語学校で日本語教師を務めました。

同校でJICAボランティアの教師を受け入れたのは初めてということもあり「何もかもがゼロからのスタートでした」と皆越さんが話すとおり、授業の進め方やカリキュラム、システムづくりなど、すべて自分一人で考え、進めなければならなかったため、「はじめのうちは手探り状態。何から始めていいかわからなかった」と当時の苦悩を振り返ります。

それでも「ほかに頼れる人もいなかったし、今振り返ると、逆にそのことが自分のためになった」と言います。

二年間ブラジルで生活してみて「日本との一番の違いは『治安』。日本ほど安全で、住みやすいところはない」と実感したといい、「今後も日本語教育を勉強し、人の役に立てる仕事につきたい」と話しています。

現地で日本語を指導する皆越さん

国保・介護保険運営委員決まる

このたび国民健康保険運営協議会並びに介護保険運営協議会の委員が新たに任命されました。

任期は平成23年6月1日から平成25年5月31日までの2年間で、被保険者の代表や保険医・薬剤師事業所代表などの計9名で構成されていて、国民健康保険、介護保険の運営に関する事項を審議します。

国民健康保険運営協議会委員

（敬称略）

氏　名	地区名
那須　博幸	上　村
野田やす子	馬　場
上米良秀人	中里2
児玉　泰治	植　木
向江富士夫	植　木
青木　範充	公立多良木病院
椎葉　時吉	上里3
東　振作	下　村
武藤　勇治	植　木

介護保険運営協議会委員

（敬称略）

氏　名	地区名
那須　博幸	上　村
野田やす子	馬　場
上米良秀人	中里2
武藤　勇治	植　木
緒方貴美子	特別養護老人ホーム 福寿荘
神瀬　誠	公立多良木病院
椎葉　時吉	上里3
東　振作	下　村
椎葉　規子	上球磨包括支援センター

今回、永年にわたり国民健康保険運営協議会及び介護保険運営協議会委員として活躍いただきました4人が退任されました。

久保田久徳さん（下　村）

久保田　修さん（瀬戸口）

桑原　リツさん（上里1）

赤池精一郎さん（上里3）

農業委員に新人10人、現職5人が決まる

任期満了に伴う湯前町農業委員会委員一般選挙は7月10日執行され、定数どおり10人が届出をし、前回に引き続き無投票で選任されました。

地内選管委員長から当選者一人一人に当選証書が交付された

7月11日に湯前町役場で行なわれた当選証書付与式では、湯前町選挙管理委員会の地内正巳委員長が当選者全員に当選証書を交付し「当選おめでとうございます。農地の調整、農業全般の諸問題を総合的に解決していく役割を担う、皆さんのご活躍に期待します」と挨拶。

同22日には、JAや町議会などの各機関から推薦された委員5人も選任され、新人10人、現職5人の委員が出そろいました。

また同日行なわれた総会では、会長に稲森英雄氏、会長職務代理者には荒川廣文氏が選任されました。

委員の任期は、平成23年7月20日から平成26年7月19日までの3年間です。

澁谷敬司(48) ※新
(下里＝幸野溝土地改良区推薦)

尾崎賢一郎(63) ※新
(野中田３)

黒木美吉(63) ※新
(古城)

荒川廣文(56) ※再
会長職務代理者
(上里１＝球磨地域農協推薦)

稲森英雄(43) ※再
会　長　(下里)

那須武利(56) ※再
(田上)

平川ゆかり(37) ※新
(下村＝議会推薦)

柴田豊明(55) ※新
(上里１)

野田美智晴(53) ※新
(馬場)

鶴田幸子(62) ※再
(古城＝議会推薦)

黒木龍次(59) ※新
(瀬戸口)

勘米良高広(55) ※新
(上村)

山本武志(54) ※再
(浅鹿野)

桑原幸博(60) ※新
(下村＝農業共済組合推薦)

林田良成(61) ※新
(下村)

平成23年度 湯前町職員採用試験

試験職種および採用予定人数

区分	職種	採用予定人数
高校卒業程度	一般事務	２人程度

受験資格

○高卒程度
※昭和５６年４月２日～平成６年４月１日までに生まれた人

受験手続き

（１）受付締め切り
８月１２日（金）まで　※ただし、土・日を除きます
受付時間：午前８時３０分から午後５時まで
※郵送の場合は、８月１２日（金）までの消印有効

（２）申し込み手続き
湯前町発行の申込用紙に必要事項を記入して、申し込み先に郵送またはご持参ください。郵送する場合は、受験票の返信用として８０円切手を貼った封筒（宛先、郵便番号を明記）を同封し、表に「湯前町職員採用試験申込」と朱書きした封筒に入れて、簡易書留郵便にして送付してください。

（３）申込用紙の請求
【直接受け取る場合】
申込用紙は、湯前町役場総務課に用意しています。
【郵送により請求する場合】
封筒の表に「湯前町職員採用試験申込み請求」と朱書きし、１４０円切手を貼った宛先明記の返信用封筒を同封のうえ、湯前町役場総務課へ請求してください。
【インターネットでダウンロードする場合】
湯前町ホームページ（http://www.town.yunomae.lg.jp/）にアクセスして、試験案内と申込書をダウンロードしてください。

試験の日時場所・内容

試験	日時	試験会場	内容
第一次	９月１８日（日） 午前８時３０分	熊本県立南稜高等学校 （あさぎり町）	○教養試験 ○適性試験 ○作文試験 ※作文試験の成績は、第二次試験の評価に含みます
第二次	１０月下旬の予定	第一次試験の合格者に、別途通知します	人物試験 （個別面接）

お申し込み先お問い合わせ先

〒868-0621
熊本県球磨郡湯前町１９８９番地１　湯前町役場　総務課総務係
TEL ０９６６(４３)４１１１／FAX ０９６６(４３)３０１３
E-mail　soumu@town.yunomae.lg.jp

yunomae seinendan

湯前町青年団です

湯前町青年団 広報副部長
落合　由衣

～暑中お見舞い申し上げます～

大暑も過ぎ、これぞ夏！と感じる猛暑の日々になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか？なでしこJAPANの世界一に沸いている日本ですが、湯前のサムライ・ナデシコも負けてませんよ☆早速、７月に開催されました球青協文化祭についてご報告します。

熱い！第４７回球青協文化祭

今年も県総合青年祭文化の部を兼ねて７月２･３日、意見発表や郷土芸能、演劇、舞踊、合唱、ダンス、のど自慢のステージ発表と生活展･美術展が開かれました。

意見発表では椎葉真由さんが、「私の出会い･ふれ合い･分かち合い」の題目で発表しました。

舞踊では男子「暴れ太鼓」･女子「冬牡丹」の２差しを披露。どちらも初挑戦でしたが、舞台で堂々と踊りきりました。終了直後、緊張が緩み泣いてしまう団員も･･･

合唱は「君をのせて」「風と光」の２曲。トップバッターの緊張もありましたが、高い評価を頂きました！「君をのせて」では出だしのアカペラが印象的でした。

ダンス･アトラクションでも、個性あふれるパフォーマンスで会場を沸かせました。

他にも、のど自慢･展示部門においても高い評価を頂くことができました！

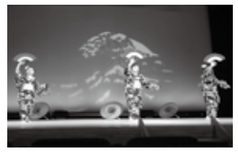
＊＊＊結果は以下の通り＊＊＊

ステージ部門

合唱	３位	
舞踊	３位	
ダンス	５位	
のど自慢	１位	黒木優士

展示部門

機関誌	１位	今田亜紀
美術工芸	３位	椎葉尚美
書道	１位	落合由衣
	２位	今田亜紀



最後に、舞踊･合唱の指導を快諾してくださった先生方、お忙しい中須恵文化ホールまで足を運んでくださった町民の皆様、本当にありがとうございました！

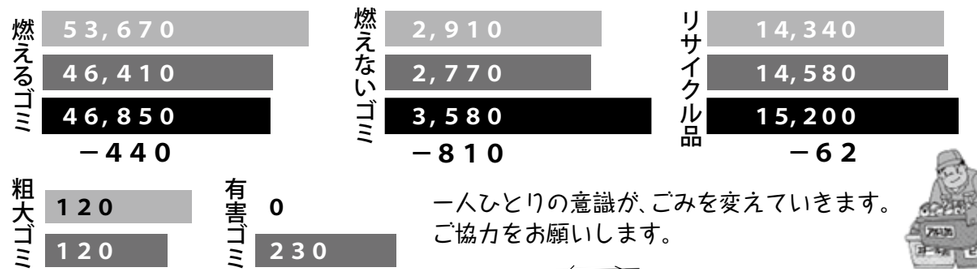
今後の予定
８月 ２７日　青年団大交流会
９月３･４日　県総合青年祭体育の部（天草）

新入団員　随時募集中!!
少しでも興味があったら、お近くの団員まで♪

７月のごみ情報

活かせば資源、捨てればごみ
ゴミのことは保健福祉課へ　TEL ４３－４１１２

6月末人口　4,487人



一人ひとりの意識が、ごみを変えていきます。
ご協力をお願いします。

買い物にはマイバックを持って出かけましょう！

不要なレジ袋を削減するためにマイバックをいつも持ち歩き、包装の野菜を選んで買い物をする。だれにでもできるこの行動がごみを減らすだけでなく、資源の節約とCO_2排出削減をはじめ地球（地域）環境を守る運動にもつながっていきます。

ごみを減らすだけでなく、環境にやさしい生活の実践にもなるマイバック。皆さんもマイバックを使ってごみ減量に取り組んでみませんか。一人ひとりの意識が、ごみを変えていきます。ご協力をお願いします。

お世話になりました。

７月１日（金）不法投棄防止啓発合同パトロールを行いました。
（保健所、行政組合、警察、役場）

※８月の不燃物収集は３水と17水です。

保健師便り

しっかり水分！元気な毎日。

水分補給が不十分だと…

熱中症をはじめ、脳梗塞や心筋梗塞を起こすこともあります。

特に暑い日には発汗等で多くの水分が体から失われるので、こまめな水分補給を！

☆のどが渇いている状態は、脱水状態が起こり始めている証拠です。

のどが渇く前に水を飲むことが大切です。また、多量に汗をかいたら塩分補給も行いましょう。（その際、砂糖や塩分などの濃度が高いと、吸収までの時間が長くなる点に注意が必要です。）

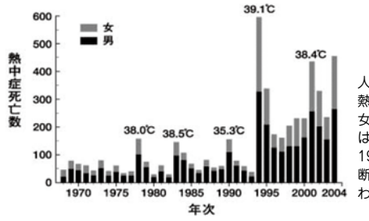
どのくらい飲めば良い？

水分の摂取量は多くの人が不足気味であり、平均的には、コップの水をさらに２杯飲めば、一日に必要な水の量をおおむね確保できます。

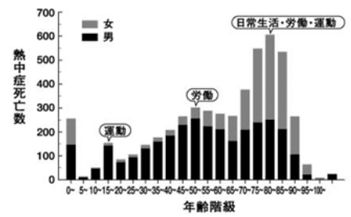
水分なら何でもOK？

アルコールや多量のカフェインを含む飲料は、尿の量を増やし体内の水分を排せつしてしまうので、水分補給としては適しません。☆★☆★腎臓、心臓等の治療中で、医師からの指示があればこれに従う必要があります。

７～８月は、熱中症発生がピークとなる時期です！



人口動態統計による熱中症死亡数の男女別年次推移（温度は大阪の最高気温。1995年から死亡診断書の書き方が変わっている。）



年齢階層別、性別熱中症死亡数（1968年から2004年の累積）（中井、日生気誌 30：171,1993に資料追加）

〈～「健康のため水を飲もう推進運動」（健康のため水を飲もう推進委員会）～〉

熱中症は予防できます。

…水分･塩分補給や、環境を整えること（室内温度の管理や通気性の良い衣服、保冷剤等による体の冷却等々）、日差しを避ける工夫（日傘や帽子）に気をつけてください。

（厚生労働省 「健康のために水を飲もう推進運動」参照）

☆心と体の健康のこと、お気軽にご相談ください。

<文責：湯前町保健センター　保健師　今田亜紀>

戸籍窓口

平成23年６月１日～平成23年６月30日届出分

ご結婚おめでとう

	氏　名	地区名
♥	谷口　晃司	（田　上）
	吉本　晴菜	（人吉市）
♥	樋渡　拓也	（福岡県）
	和田　彬花	（上　村）
♥	井上　友議	（福岡県）
	森　直美	（下　城）
♥	田中　剛	（大阪府）
	那須あい子	（野中田２）
♥	田北健一郎	（阿蘇郡）
	小川　愛	（田　上）

たんじょうおめでとう

（うぶごえ）

氏　名	保護者	地区名
財部（たからべ）　陽向（ひゅうが）	淳一	（瀬戸口）
大石（おおいし）　みう	豊正	（瀬戸口）

ご冥福をお祈りします

氏　名	地区名
松永　セイ	（中　猪）
那須シズエ	（福寿荘）

（敬称略）

香典返し

氏　名	地区名
永浜　敏彦	（浜　川）

第57回全日本中学校通信陸上競技大会熊本県大会

湯中「卓（すぐる）」コンビ、ワンツーフィニッシュで全国、九州大会へ

第57回全日本中学校通信陸上競技大会熊本県大会は7月10、11日の両日、熊本市の熊本県民総合運動公園陸上競技場（Kウイング）で行なわれ、男子共通800mに出場した廣末卓選手（湯前中3年）が2分00秒72で優勝、全国標準記録である2分01秒50をクリアし全国大会出場を決めました。また大田黒卓選手（同3年）は2分02秒94で2位に入り、各種目上位2位までに出場権が与えられる九州大会出場を決めました。

4組によるタイムレースで行なわれた競技で両選手は、ともに1組目に登場。廣末選手は号砲直後から集団の先頭に飛び出るものの、大田黒選手は位置取りに苦戦し、集団の後方に埋もれてしまう。それでも外側から集団を抜け出すと、200m地点では廣末選手の直後につけ、後続を引き離す。

残り400mは「卓」コンビの一騎打ちとなり、ともにペースは衰えることなく、ワンツーフィニッシュを決めました。

標準記録を突破し、全国大会出場を決めた廣末選手は「レース前から全国大会を狙っていたので、達成できてうれしい。九州・全国大会では2分を切りたい」と力強く話し、2位に入り九州大会出場を決めた大田黒選手は「スタートで出遅れてしまい、標準記録を突破できなかった。九州大会では1分台を出し、上位に入りたい」と話しています。

2人を指導している久間章弘監督（湯前中教諭）は「2人とも自分の力を出し切り、予定どおりのレースをしてくれた。九州、全国大会でも上位入賞を期待しています」と話しています。

九州大会は8月6日に宮崎県総合運動公園陸上競技場で、全国大会は8月20日から21日に奈良県の鴻ノ池陸上競技場で行なわれます。

〈男子共通800m〉

優勝　廣末　卓（湯前中）　2分00秒72
※全国標準記録突破
2位　大田黒　卓（湯前中）　2分02秒94
3位　西田　耀道（鏡中）　2分05秒98

350m付近で集団を引っ張る廣末選手（右）と太田黒選手（右から2人目）

編集あとがき

▼「集大成の夏に挑む」。今月の表紙のタイトルに使った「集大成」という言葉は、湯中生の口から出た言葉でした。

中体連という、中学生にとって「この日のために」培ってきた、努力の成果を発揮する舞台で、彼らは躍動し、見事な結果を残しました。良い結果を残すことができなかった人も「中体連は負けを知る日」（湯中教諭の言葉）を胸に、「負けた」経験を、今後の人生の糧にしてほしいと願います。

▼佐々木監督率いる「なでしこJAPAN」のW杯優勝という快挙に、日本中が沸き、勇気と感動をもらいました。

同監督が選手を「ちっちゃい娘たち」と表現したように、チームには家族のような信頼関係と、強い責任感・圧倒的な存在感でチームを引っ張る主将の姿があり、それが世界一への原動力になったのではないでしょうか。

▼今月取り上げた「省電」は、おそらく多くのご家庭で、すでに取り組まれているのではないでしょうか。

そんな皆さんはぜひ、自信を持って継続していただきたいと思います。それこそが「地球のためにできること」なのですから。（平）

ご意見・投稿はこちらから

発行／湯前町役場総務課
〒868-0621 熊本県球磨郡湯前町1989-1
TEL 0966-43-4111 FAX 0966-43-3013
ホームページ http://www.town.yunomae.lg.jp/
E-mail kouhou@town.yunomae.lg.jp
発行日／平成23年8月1日 印刷／㈲ソーゴーグラフィックス